

報道関係者各位

2020年8月28日

筑波大学附属病院

リーズンホワイ株式会社

筑波大学附属病院陽子線治療センターがリーズンホワイのシステムを採用し
9月1日より陽子線・放射線治療のオンラインによるセカンドオピニオンをスタート
自宅に居ながらオンラインで大学病院のがん専門医に相談

筑波大学附属病院（茨城県つくば市、病院長：原 晃、以下「本院」）は、リーズンホワイ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：塩飽哲生、以下「リーズンホワイ」）が提供するネット型セカンドオピニオンサービス「Findme（ファインドミー）」を採用し、がんの陽子線治療・放射線治療のオンラインによるセカンドオピニオンを2020年9月1日から開始します。

セカンドオピニオンとは、現在かかっている主治医以外の医師に、診断や治療方針について「第2の意見」を求めることで、患者さんが病気についての理解を深め、治療方針の決定に主体的に関与することができるシステムです。セカンドオピニオンは、自由診療で実施されますが、医療が高度化している昨今において、患者さんご自身が納得して治療に取り組める仕組みとして、がん医療の現場では積極的に取り入れられています。

これにより、来院による新型コロナウイルス感染症などのリスク低減を図りながら、本院から離れた場所にお住まいの患者さんでも陽子線治療や放射線治療、がん治療の相談が可能となります。

■ 導入背景

筑波大学附属病院陽子線治療センターではこれまで、対面式のセカンドオピニオンを行ってききましたが、患者さんのお住まいと本院との距離がハードルとなりセカンドオピニオンを案内できないケースもありました。また、昨今の新型コロナウイルス感染症の広がりや来院することをためらっている方もいることから、リーズンホワイが提供するネット型セカンドオピニオンサービス「Findme（ファインドミー） オンライン診療システム」を導入し、オンラインでの実施可能なセカンドオピニオンを実施することになりました。

■ セカンドオピニオンサービス概要

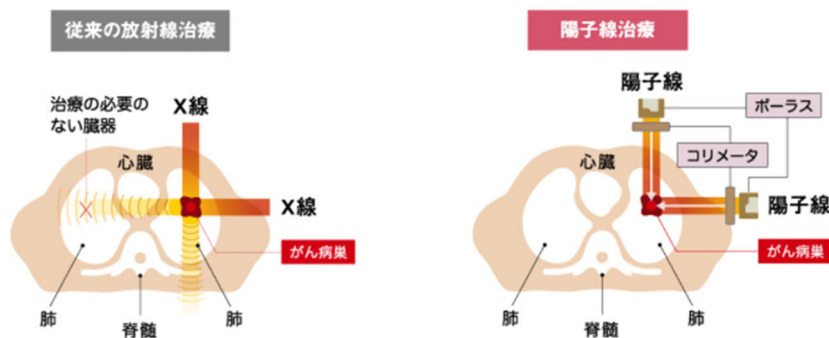
本院陽子線治療センターの櫻井英幸部長らが相談対応します。受診希望の方は、陽子線治療センターのWEBサイト（<https://www.pmr.c.tsukuba.ac.jp>）または Findme のWEBサイト（<https://www.findme.life/so/hospital/tsukuba>）にアクセスしてください。

※かかりつけ医からの診療情報提供書（紹介状）、相談に必要な画像データの準備が必要です。

※セカンドオピニオンは自由診療で30分46,200円（税込）。クレジット決済のみ対応。

【体への負担が少なく、QOL（Quality of Life）を保つことができる治療法「陽子線治療」とは】

従来のがん治療に用いられるエックス線などの放射線治療は、体の表面近くで一番強いエネルギーを放ち身体の奥へ入るに従ってエネルギーが弱くなり、病巣を超えて体を突き抜けてしまう為、病巣の奥にある正常な組織や臓器を傷つけることが避けられませんでした。一方、陽子線治療は放射線治療の一種であり病巣のみピンポイントで治療が行えるため、高齢の方や体力ない方、合併症があるために手術ができない方にとっては大変有効な治療法といえます。



【リーズンホワイ「Findme(ファインドミー)」システムの特徴】

がんの治療法は年々進歩していき、様々な治療法が選べるようになりました。しかし、「今の治療法でいいのだろうか?」、「他に選べる治療法はないのだろうか?」といった悩みや不安を持たれているがん患者さまは多くいらっしゃいます。Findme は、そのような悩みや不安を持つ患者さまに、少しでも安心して治療に臨んでいただくために、インターネット上で書面にてセカンドオピニオンを提供するサービスとして 2018 年 4 月にスタートいたしました。

一般的な遠隔医療システム



ビデオ通話・診察がメインのサービスで、検査データの共有、保管などできない。

「がん」特化した当社システム



必要な検査結果データの共有ができる



- クラウド型DICOMビューアーを通して、レントゲン、CT、MRIなどの画像検査データを表示させ、また「クラウド型PACSシステム」を通じて受信し、保管・管理する。
- 血液検査結果のデータを写真で共有、閲覧もできる。

【主なセカンドオピニオン担当医師プロフィール】

櫻井英幸

筑波大学 医学医療系 放射線腫瘍学教授
筑波大学附属病院 放射線腫瘍科長
筑波大学附属病院 陽子線治療センター部長

放射線科専門医（日本医学放射線学会）
日本放射線腫瘍学会認定医（日本放射線腫瘍学会）
がん治療認定医（日本がん治療認定医機構）
日本ハイパーサーミア学会指導医



<櫻井教授からのコメント>

陽子線治療をはじめとした放射線治療は、臓器の形態と機能を残しながら治療を行え、QOL を維持しながらがん治療を行うことができることから、昨今の患者さんのニーズにマッチした治療法として注目を集めています。また、低侵襲で、体への負担が少ないことから、高齢化社会を迎えるわが国では、特に期待されるがん治療の領域です。また、放射線腫瘍医は、放射線治療の専門性を活かしながらほぼすべての臓器のがんを対象としています。こうした背景を活かしながら、陽子線治療や放射線治療のみならず、がん治療全般に関する相談にも対応できると考えます。ぜひお気軽にご相談ください。

【リーズンホワイ株式会社について】

代 表 者 : 代表取締役 塩飽哲生
本社所在地 : 東京都千代田区内幸町 1-1-6 NTT 日比谷ビル 6F.
設 立 : 2011年7月
H P : <https://www.reasonwhy.jp/>
業 務 内 容 : 医療 IT サービス、病院・医療関連企業のコンサルティング

【本件に関する問い合わせ先】

筑波大学附属病院 陽子線治療センター 担当：讃岐美甫
TEL : 029-853-7118

リーズンホワイ株式会社 担当：釣部公太郎
TEL : 03-5530-8297